

シスプラチン+ゲムシタビン

A-04

総コース数:

< 1コース: 21日間隔 2週投与 1週休み >

治療日		前日	第1日目	第2-7日目	第8日目	第9-21日目	第22日目
治療内容							
検査	採血		○		○		○
診療	副作用の問診		○		○		○
	検査結果		○		○		○
治療中止基準	①白血球 3000未満 ②好中球 1500未満 ③血小板 10万未満 ④ヘモグロビン 10g未満 ⑤発熱・CRP上昇 ⑥PS 2以上		-	-	-	-	-
点滴	①生食50ml +パロノセトロン1V +デキサート3.3mg 2A 点滴静注【全開】		○		○		○
	②生食500ml +硫酸マグネシウム 8mL 点滴静注【60分】		○		○		○
	③シスプラチン25mg/m ² +生食500ml 点滴静注【60分】		○		○		○
	④生食500ml 点滴静注【60分】		○		○		○
	⑤ゲムシタビン1000mg/m ² +生食100ml 点滴静注【30分】		○		○		○
	⑥生食 50mL ルートフラッシュ用		○		○		○
ポストメ ディケー ション (内服薬 option)	エリーテン(5mg) 3T3×5日間		5日間		5日間		5日間
	デカドロン(0.5mg) 3T3×5日間		5日間		5日間		5日間
減量基準							

看護のPoint!!

ゲムシタビンは投与中に血管痛を訴えることがある。患部を温めてあげるといいかも。

それでもダメなときは、次回から溶解液を生食から5%ブドウ糖液に変更してもらおう。

主な副作用は骨髄抑制と間質性肺炎。

間質性肺炎は怖い副作用。

投与後にかゆみを訴えたらゲムシタビンによるアレルギーかも。

ゲムシタビンは30分以内で投与してね。もし1時間以上かけたら副作用増強!!